

ありがとう

白十字会福岡地区広報誌

白十字病院
白十字リハビリテーション病院
在宅事業部

2026年
特別号



みんなで 石丸の地に生まれて43年、
つくった感謝祭

第1回 白十字会地域感謝祭を開催しました！

Festival Fun Spots ~感謝祭を動かしたチカラ~
地域への取組み

◎感謝祭開催にあたり、多大なるご支援・ご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。
(順不同・敬称略)

石丸校区自治協議会／福岡県看護協会 福岡5地区支部／福岡市消防局 西消防署／福岡県警察 西警察署／博多まるきた水産株式会社／株式会社介福本舗／有限会社トーコー(ヤマザキ)／シンチャオ／錆猫／iyu crepe／株式会社陽文社

白十字会の想い

昭和57年、福岡市西区石丸の地に開院して43年が経ちました。5年前には、ケアミックス型の病院を二つに分院し、急性期病院と回復期病院へと機能分化しました。

このように白十字会福岡地区は、病気・ケガの治療から専門的なリハビリテーション、そして住み慣れたご自宅での生活支援まで、一連の医療・介護サービスを提供できる体制を整えてきました。

今日まで私たちがこの地で地域医療を続けてこられたのは、ひとえに地域の皆さまのご理解とご協力のおかげです。その「ありがとう」の気持ちをお届けするため、10月26日に白十字会福岡地区として初めて、地域感謝祭を開催しました。

白十字会 地域感謝祭

開催しました!
—— 第1回 ——

“ありがとう”の気持ちを込めて

イベント内容

- ◆めんたいこ作り体験
- ◆サンドイッチ教室
- ◆スタンプラリー
- ◆キッズ医療体験
- ◆体験型：防犯交通安全教室
- ◆一次救命体験(BLS&AED)
- ◆T-DAS 測定(認知機能測定) / 健康相談
- ◆HAL(ロボットリハビリ体験)
- ◆InBody
- ◆とろみ体験(色々なとろみを体験)
- ◆ロービジョン体験
- ◆マジックショー
- ◆福祉用具展示
- ◆キッチンカー
- ◆俺のコロッケ販売
- ◆バザー
- ◆ACP

開催当日の賑わい

当日は朝10時前には正面玄関前にたくさんの方々が並んでください、開院と同時にお目当てのイベントへと足早に向かわれる姿が見られました。事前に内容をチェックし、この日を楽しみにしてくださっていた様子が伝わり、会場は開始早々から活気に包まれました。各ブースでは体験を通して笑顔を見せる方の姿が多く見られ、世代を問わず多くの方にご参加いただきました。職員にとつても、地域の皆さんと直接ふれあい、つながりをあらためて実感する一日となりました。



Festival Fun Spots

感謝祭を動かしたチカラ

コアメンバーにインタービュー



子供たちの目が輝いてました！

白十字病院 看護部 樋口 文子



リハビリ体験ブースは大盛況！(^^)

白十字病院 リハビリテーション部：PT 古賀 研人

ロボットスーツ HAL を使った HAL サッカーでは「なんで動くの？」、「これをつけてリハビリするのは楽しそう」など子供達の喜ぶ声やリハビリに対する興味が聞かれとても嬉しかったです。とろみ体験、インボディー測定も大盛り上がり！準備は大変でしたが学生時代の文化祭を思い出し、個人的には準備も含め感謝祭は大満足でした。お手伝いいただいたスタッフ、業者の方、参加して頂いた地域の方々本当にありがとうございました！

開場前、並んで待つ
皆さんの姿が嬉しかったです！

白十字リハビリテーション病院 地域医療連携課：PT 山下 泰貴

『キッズ医療体験』のブースを担当しました。予約制にしていたのですが、予約以外でも多くの人が来られました。キッズと言っても未就学児も来られるし、兄弟で参加させたい親御さんもおられるし、大人の方でも「体験してみたい」と言われる方もおられ、日頃できない体験を興味津々に参加されていましたと思います。やってるこちらも楽しかったです！

大人も子供も、
認知症への関心がある
ことにびっくり！

在宅事業部 ずっと一緒に：ケアマネジャー 松本 俊一



健康・介護相談やT-DASというタブレットで認知機能を測定するブースを担当しました。物忘れが気になるご年配の方に試してもらえたらいなと思っていたら、意外とお若い方の参加もあり、“君はまだ大丈夫だろう”という子供たちも集まってくれました笑。意味が分かっていたのかは不明です。



たくさんの方が来てくれて
本当に良かったです

白十字リハビリテーション病院 地域医療連携課：MSW 山道 侑里

※ACP…アドバンス・ケア・プランニングは、もしものときのためにあなたが望む医療やケアについて前もって考え、ご家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

私は ACP(※)の準備担当と当日はフリーで来場者さんの案内を行いました。ACP では企画してくださいました白十字リハビリテーション病院看護部の山崎部長とやりとりをしながら準備を進めていました。当日は様々な年代の方が ACP についての講演に参加してくださいたり、掲示を見てくださいました。少しでも ACP のことが広まってくれたらと思います。

やりたかった感謝祭が形になり、感無量です

白十字病院 診療部（副院長・泌尿器科医師）阿部 裕典



念願だった感謝祭がついに実現し、その場に立ち会えたことをとても嬉しく思います。地域のみんなの楽しそうな姿を見て、このイベントが実現した意義を強く感じました。中心となって準備を進めてくださった皆さんに心から感謝し、これからも地域に寄り添う取り組みが続いたらいいなと思っています。



初めてのお祭りは、
どうなるか不安でいっぱいでした

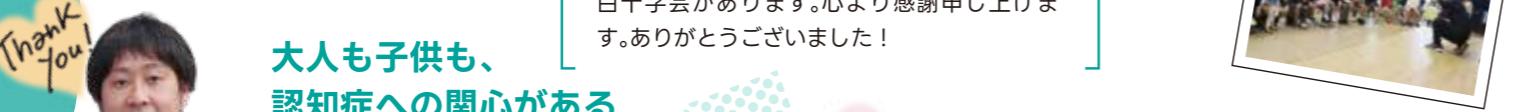
白十字リハビリテーション病院 リハビリテーション部：OT 平井 裕介

初めての感謝祭ということで、最初は「本当にうまくいくのだろうか」「人が集まってくれるかな」と、不安がつきまとっていました。準備期間も短く、各スポットごとの調整や物品の用意、動線づくりなど、思わぬ課題が次々と出てきて、くじけそうになることもあります。それでも当日は、来場者のみなさんの笑顔や「楽しい！」「来てよかった」という声に、胸がじんわり温くなりました。スタッフ同士も自然と助け合い、まるで一つのチームのように動けたことも大きな励みとなりました。終わってみれば、不安よりも達成感が強く残り、「挑戦してよかったです」と心から思える一日でした。



気合入れて
コスプレしました！

白十字病院 薬剤部 水之江 峻介



キッズ医療体験の中で分包体験を担当しました。多くの子供たちに体験してもらうことができ目をキラキラさせながら分包する様子を見ている姿やご両親から「どのように薬が分包されているのかを普段見ることができないのでとても貴重な体験でした」とのコメントも頂けました。この体験を通じて将来「薬剤師になりたい！！」という子供たちが出てくれると嬉しいです！！またコスプレも大盛況でした！（何のコスプレかひあててみてください！）実行委員の皆様／ボランティアの皆様お疲れ様でした！！

スタッフの協力体制に
嬉しくて涙がでました…

白十字病院 総務課広報係 横川 亜希代

主にチラシなどの広報紙、ホームページやSNSにて院内外の広報、院内装飾を担当しました。たくさん準備して、皆に楽しんでもらう！単純だけど、とても難しい目標を掲げ、突っ走りました！終いには夢にまで出てくるように（笑）それでも最後まで開催できたのは快く協力してくれた、たくさんの職員のおかげです。この御恩は一生忘れません。



当日は、ただひたすら
走りまくっていました(笑)

白十字病院 診療情報管理課 松元 潤

ナイスチームワーク！
キャラクターグッズ探しに奮闘！

白十字病院 栄養管理部 真次 亮弥

初の感謝祭ということで、企画立案から参加し、当日はスタンプラリーを担当しました。子供たちが沢山くるだろうと想定して、キャラクターグッズを景品に選びましたが、ゲットするのが一番大変でした…。(笑) 当日は忙しかったですが、スタンプラリーチーム全員で協力しながら運営し、楽しい1日となりました！貴重な経験をさせていただき、感謝しています！！！



地域感謝祭では全体の運営を担当し、来場者の皆さまが安心して楽しめるよう、準備段階から当日まで力を尽しました。当日は救急車の受け入れもあり、駐車場での車の誘導や安全確認に追われ、気づけば会場内を何度も走っていました。地域の皆さまの笑顔や温かい声が大きな励みとなり、とてもやりがいを感じた一日でした。

地域への取組み

地域のみなさんの「笑顔」が見たいから…
みなさんが安心して暮らせるよう、白十字会は
さまざまな取り組みを広げています。



健康づくりの場の提供



白十字会地域交流サロン

地域の人々が自由に集えるコミュニティサロン

『いしまるしえ』の運用

2022年に開設したコミュニティサロン『いしまるしえ』は、地域の方々の集会所のような機能も担います。地域に開かれた場として、教室・講演会・情報発信の場として利用できます。

健康講座

医師と専門スタッフによる健康セミナー

日々の生活に役立つ健康づくりのヒントや、無理なく続けられる体操・栄養のポイントなどを、楽しく学べる内容でお届けしています。

<こんな健康講座を行っています>

- 脳卒中や心臓病について
- 介護ケア技術の紹介
- リハビリ体操
- 泌尿器や腎臓の病気について
- 栄養について etc…

※医師をはじめ看護師や薬剤師、管理栄養士、リハスタッフがお話しします



よかトレ実践中!

福岡市が推進する介護予防の取り組みの一つである『よかトレ実践ステーション』の認定を受けました。

サロン活動の支援

『いしまるしえ』で活動するサロンをサポート

現在8つのサロンが誕生し、それぞれが地域の健康づくりや交流促進を目的に積極的に活動しています。これらのサロンが継続的に活動できるよう、白十字会ではサロン運営のサポートにも力を入れています。

※サロンとは、地域の方が気軽に集まり、交流や健康づくりを行う集まりのことです。



ノルディックウォーク

全身をバランスよく動かせるウォーキング

いしまるしえを拠点に、参加者の体力や天候に応じて毎週水曜日に2本の専用ポールを使って歩くノルディックウォークを実施しています。みんなで健康的に気持ちよく、楽しんで歩いています。



地域活動への参加

いしまる祭りに参加

地域行事に積極的に参加

地域とのつながりを深める取り組みとして、石丸校区の夏祭り「いしまる祭り」に参加しています。昨年から射的ゲームを出店し、多くの親子連れが立ち寄ってくれて、大変喜ばれています。地域の方々と自然に会話が生まれ、顔見知りの関係が広がっていくことを実感できています。今後も地域行事への参加を通して、身近で親しみのある法人を目指し、地域に根ざした活動を続けていきます。



射的ブースは大人も子供も大盛り上がり！

研修会や出前講座などで講演

当法人では、研修会や講演会を通じて、地域の皆さんや医療・介護に関わる方々に向けた情報発信を行っています。職員が講師となり、認知症の予防や、役立ヶア技法などをテーマに講演を実施しています。

認知症を正しく理解し、地域みんなで安心して暮らし続けられる地域づくりにつながるよう、今後も継続して取り組んでいきます。

事業所ネットワーク

『ろくさぽ』に参加

事業所間ネットワーク「ろくさぽ」は、医療・介護・福祉などの事業所が連携し、地域を支える取り組みです。専門職が地域に出向き、健康づくりや見守り活動、交流の場づくりなどを通して、住民の皆さんと顔の見える関係を大切にしています。地域の困りごとやニーズを共有しながら、支え合いの輪を広げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

<ろくさぽの活動>

RUN伴

認知症になってしまっても安心して暮らし続ける地域づくりを目指し、認知症のある方・ご家族・支援者・地域住民が一緒にタスキをつなぎながら走る(歩く)全国規模のイベントです。白十字会も積極的に参加しています。

オレンジフェスタ

認知症への理解を深め、認知症のある方やそのご家族が安心して暮らせる地域づくりを目的に開催される、市民参加型の啓発イベントです。関連する映画鑑賞や認知症サポーターの養成研修、相談会などに参加しています。



認知症に対する取組み

認知症フレンドリーシティ・プロジェクト

福岡市オレンジパートナーズに参画

2025年、認知症の方やそのご家族が安心して暮らし続ける地域づくりを推進する「福岡市オレンジパートナーズ」に白十字会福岡地区が参画しました。白十字会として、認知症への正しい理解の普及や、地域での見守り体制の強化、職員の認知症対応力向上など、地域全体で支える仕組みづくりに一層取り組んでまいります。今後も、医療・介護・地域支援の連携を深めながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献していきます。

<オレンジパートナーズとは?>

認知症になってしまっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるよう、企業や団体が福岡市と協力して見守りや普及啓発活動に取り組む制度です。



ケアマフ作りの様子(白十字リハビリテーション病院ケアマフ部)



認知症に対する優しい技法を職員全員で

ユマニチュード®を推進

白十字会では、2015年9月より認知症対応コミュニケーション技術「ユマニチュード®」を導入し、医師・看護師・リハビリ職・事務職など、法人内のすべての職員が共通の考え方のもとで学び、実践を続けています。

ユマニチュード®が大切にしている“見る・話す・触れる・立つ”という4つの基本を日々の関わりの中で実践し、患者さま・利用者さま一人ひとりの尊厳を守りながら、その人しさに寄り添うケアを心がけています。

すべての職員が同じ理念のもとで学び、実践を重ねることで、安心していただけるケア提供と心に寄り添う支援の実現をめざしています。また、職員自身も認知症のある方への接し方を理解し、不安や戸惑いが軽減され、落ち着いて向き合えるようになることが、より良いケアにつながっています。



福岡市ユマニチュード®講座を受講したスタッフによる指導



当事者やその家族、地域の方の交流の場 “認知症カフェ”

つながるカフェを開催

地域交流サロン『いしまるしえ』にて地域の皆さんが認知症について気軽に相談でき、安心して集える場として“つながるカフェ（認知症カフェ）”を定期的に開催しています。ご本人やご家族はもちろん、地域住民の方や専門職など、どなたでも参加していただける開かれた交流の場です。カフェでは、医療・介護スタッフによる相談や情報提供、参加者同士の交流を通じて、「一人で抱え込まない」「地域で支え合う」環境づくりを目指しています。



患者さん・利用者さんが一日も早く 社会に復帰されることを願います

患者さんの様々なケースに対応できるよう、
トライアングル連携で地域のみなさまを見守ります

急性期

回復期

生活期



〒819-8511
福岡県福岡市西区石丸 4-3-1

TEL:092-891-2511 (代表)
FAX:092-881-4491 (代表)



社会医療法人財団 白十字会
白十字病院

急性期病院

地域の急性期ニーズに対応する 282 床の地域医療支援病院。

高度で低侵襲の医療を提供し、①高度専門医療②救急医療③在宅療養後方支援④健康なまちづくりを四本柱としています。

■開院日 / 1982年2月1日 ※2021年4月1日新築移転

■病床数 / 282 床(ICU:12 床、SCU:6 床、一般病床:219 床、地域包括ケア病床:45 床)

■主な指定など / 地域医療支援病院、社会医療法人、基幹型臨床研修病院、救急告示病院、内科専門医研修プログラム基幹施設、へき地医療拠点病院、開放型病院、病院機能評価認定(3rdG:Ver.3.0)



ホームページ
<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>



〒819-8611
福岡県福岡市西区石丸 3-3-9

TEL:092-891-2611 (代表)
FAX:092-891-2633 (代表)



社会医療法人財団 白十字会
白十字リハビリテーション病院

回復期病院

急性期後、日常生活を送ることが困難になった方に対し、住宅や社会復帰を目的としたりリハビリテーションを積極的に行っていく160床のリハビリテーション専門病院です。

■開院日 / 2021年4月 ※2022年8月リニューアルオープン

■病床数 / 160 床(回復期リハビリテーション病床:120 床、地域包括ケア病床:40 床)

■主な指定など / 健康保険法保険医療機関、生活保護法指定医療機関、難病の患者に対する医療機関等に関する法律に伴う指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、労災保険指定医療機関、結核指定医療機関、身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関、NASVA(独立行政法人自動車事故対策機構)短期入院協力病院、病院機能評価認定(3rdG:Ver.3.0)



ホームページ
<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/riha/>



社会医療法人財団
白十字会 - 福岡地区 -

在宅サービス

病院における入院治療やリハビリテーションを“卒業”された方が、安心して生活に戻れるようにお手伝いをさせていただきます。具体的には、ケアプラン作成をおこなう居宅介護支援、訪問看護、通所介護・通所リハ、そして住宅型有料老人ホームなどの在宅サービスを提供しています。



訪問看護 訪問リハビリ

訪問看護ステーション白十字

■看護師による訪問

TEL:092-891-2642/FAX:092-894-5588



訪問介護 訪問看護 通所 泊まり

看護小規模多機能

ずっと一緒に

■通い・泊まり・訪問介護・訪問看護

TEL:092-891-2225/FAX:092-891-2226



(白十字リハビリテーション病院内) 通所

パワーリハビリ

通所リハビリテーション

■リハビリテーションの提供

TEL : 092-894-6577

居宅介護支援

白十字会ケアプランセンター福岡

相談

■ケアプランの作成

■介護サービスの調整・連絡

〒819-8611

福岡県福岡市西区石丸 3-3-9

TEL:092-882-5138

FAX:092-894-6511



入居

住宅型有料老人ホーム

ドリームステイはばたき

■全室個室18室 ■食事提供・安否確認

TEL:092-894-5005/FAX:092-894-5006

TEL:092-894-3388/FAX:092-894-3388